

沿岸広域振興局長殿

提出者 ホクヨープライウッド株式会社 宮古工場  
住所 〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏二丁目3番地1号  
氏名 取締役工場長 吉田 和弘

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

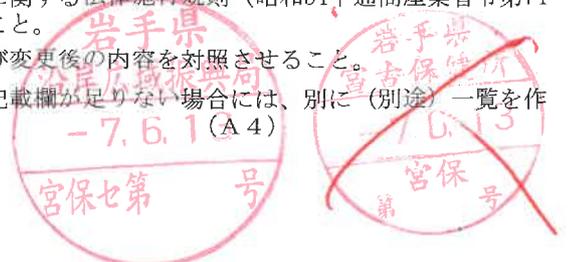
主たる工場又は事業場の名称	ホクヨープライウッド株式会社 宮古工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏二丁目3番地1号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,121 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
宮古工場	〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏二丁目3番地1号	1,413 kℓ
藤原工場	〒027-0024 岩手県宮古市磯鶏第4地割114番地7	707 kℓ
		kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 2024 )年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値 A	単位	熱量(GJ) B	数値 C	単位	熱量(GJ) D				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	7.92	kL	289		kL	289	20	17	2	
軽油	131.97	kL	5,015		kL	5,015	346	448	-102	
A重油	148.00	kL	5,757		kL	5,757	407	331	77	
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t		t					
	石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t					
	その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭		t		t					
	輸入原料炭		t		t					
	コークス用原料炭		t		t					
	吹込用原料炭		t		t					
	一般炭		t		t					
輸入一般炭		t		t						
国産一般炭		t		t						
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>					
	( )									
( )										
黒液		t			t					
木材		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他バイオマス		t			t					
RDF		t			GJ/t					
RPF		t			GJ/t					
廃タイヤ		t			GJ/t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			GJ/t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			GJ/t					
廃油		kL			GJ/kL					
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料( )										
小計①						11,061	773	796	-23	
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計②										
電気事業者①	8,236.39	千kWh	71,162		千kWh	71,162	3,311	5,446	-2,135	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電	太陽光		千kWh		千kWh					
	水力		千kWh		千kWh					
	風力		千kWh		千kWh					
	その他		千kWh		千kWh					
小計③						71,162	3,311	5,446	-2,135	
合計 ④=①+②+③						82,224	4,084	6,241	-2,157	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258)

原油換算エネルギー使用量	2,121	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	4,084 t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素	t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
合計	4,084 t-CO <sub>2</sub>	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比を毎年度1%減少させる。  
令和6年度までの3年間で3%減少させる。  
前年度比85.8で14.2%減少した、3年間で99.7%、0.3%減少した。  
対前年度比は達成出来たが、3年間で3%の目標は達成出来なかった。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	3年間の平均原単位変化
原単位	26.46	29.43	30.56	26.22	
対前年度		111.22	103.84	85.8	99.70
		11.22	3.84	-14.20	-0.3

【具体的な取組状況】

必要のない照明、機械の停止。  
デマンド監視装置によるピーク電力の抑制。  
電動機のインバーター制御。  
変圧器の負荷の集約をし、変圧器の稼働を一部休止した。  
バッテリーフォークリフトの採用 3台

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

ISO14001の取り組み 維持審査合格  
水漏れの修理  
エアリーク修理

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	( )	ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	( )	ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
L P G	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.477 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	0 ( 0 )			kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項